IdeaPaint CREATE （白）

【施工要領書】

IdeaPaint JP　2012.7

2014.1 改定

※随時新しい情報を更新しています。入手後１ヶ月以上経過した場合は破棄し、新しいバージョンを入手してください。

・ 当商品の詳細

ホワイトボード塗料 アイデアペイント クリエイト 白[2液硬化性エポキシ樹脂系塗料]

用量 800g（4㎡ぶん・ワンサイズのみ）

塗布量 200g/㎡、ローラー塗装 ［※塗布量厳守］［※希釈厳禁］

耐用年数 約１０年（施工環境・使用頻度・お手入れ状況によって寿命は変動します）

内部専用塗料（バス・キッチンなど水分や熱の影響を受ける場所は避けてください。）

・ 当商品の特徴

当塗料を塗り 乾燥すると、ホワイトボードとして使用できます。ホワイトボードマーカーで繰り返し、書いたり消したりすることが可能です。いずれ汚れても、塗りかえること再塗装で再生できます。

※表面は塗料特有のゆず肌状です。多少のローラー跡やゴミの混入は避けられません。

・ 安全性

F☆☆☆☆取得（証明書あり）

GREENGUARD 及び GERRNGUARDchildren&schools 認定

防火基準 ASTM E-84 Aクラス認定

※F☆☆☆☆証明書・MSDS 等各種資料をご希望の際には、弊社までご用命ください。

・ **適応下地と事前処理（※あらかじめ凹凸は平滑に整え、状態のよいベースを作ります。）**

① 新しい石膏ボード（PB） ※古いボードは推奨しません。

繋ぎ目や穴がある場合、通常どおりジョイント処理・パテ処理

② 鉄板

サビがある場合サビ取り処理、鉄板が複数枚に渡る場合はジョイントをポリパテ処理

・ **下塗塗料（２回以上塗布し、むらなく着色。吸込みも防止します。）**

※キットには含まれません。別途ご用意ください。※下塗塗料は、全艶～半艶が理想

①の場合： 水性シーラー（白）…真白色がしっかり着色するもの、または水性塗料（白）

推奨）アクリルエマルジョン樹脂系

②の場合： 一般的な錆止め塗料（1液・白）…真白色

推奨）エポキシ系

・　施工手順

(1)　　事前処理　凹凸がある場合は平滑に整え、状態のよいベースを作ってください。

(2)　　養生　通常の塗装工事と同じ要領で養生します。

(3)　　下塗り　2～3回

下塗塗料は、必ず2回以上塗布してください。(吸込防止・色調調整のため)

吸込みや色ムラがある場合は3回以上塗布してください。(IdeaPaintは透過します)

IdeaPaint塗布までのオープンタイムは、通常の塗料に比べて長めにとってください。

※水性シーラーは20℃下で5時間～2日（冬季や高湿期： 1日～3日）

※錆止め塗料は1日～1ヶ月程度

(4)　　再養生

ペーパー（#260～＃320）をかけ、粉をよく拭き取り、再養生します。

(5)　IdeaPaint塗装　1回

換気環境をよくします。

主剤（THAT）に硬化剤(THIS)を入れてよくかくはんします。

捨て板を用意し、ローラーを脱泡します。

まずハケで枠や細部を塗り、それを追うようにローラーで塗布していきます。

塗料を配り、上下左右にならし、(液垂れ寸前まで）たっぷり膜厚を付けていきます。

（膜厚が薄いと、消去性が悪いなどの不具合につながります。）

塗ると硬化が始まり、1分程度経過すると修正できません。

<2kit以上使用する際>

必ず1kit毎に調合・塗布を繰り返します。

続いた面は、手を休めず一度に仕上げてください。

ローラーは、毛が堅くなる前（目安 2～3kit毎）に交換してください。

ローラーハンドルとバケットは、多めに用意しておいてください。

「調合」と「塗り」で役割を分担すると効率よく施工できます。

(6) 養生除去

塗装後、素早く養生を除去します。

(7) 乾燥

必ず4日間乾燥させてから、使用してください。

ホワイトボードの使い方

〈書く〉純正マーカー、市販のホワイトボード用マーカー（※テスト後使用してください。）

〈消す〉純正消去用クロス、ファイバークロス、やわらかい布（※きれいなもの）

〈クリーニング〉純正クリーナー

※　詳細は弊社 HP（www.ideapaint.jp）内「ホワイトボードの使い方」をご確認ください。

※　書いたまま長く放置すると、消えにくくなったり、変色することがあります。

※　書いたものは、当日中に消去してください。

※　市販のイレイザーはキズを付ける恐れがあるため、使用しないでください。

＜道具について＞

・　ローラーは付属のもの（9 インチ筒型）をご使用ください。
・　ローラーに相応のハンドル・大きめのバケットをお使い下さい。
・　その他、養生用具・下地用用具・ペーパー（＃240～＃320）・ハケ・軍手など、一般的な塗装に必要なものをご用意ください。

※材料は、余裕をもって準備してください。

※ゴミが混入した際に除去するため、ピンセットがあると便利です。

＜施工環境＞

◎　最適環境　気温 20℃・湿度 50%

×　25℃以上の高温

×　85%以上の高湿度

×　5℃以下の低温

×　雨・風・水分・熱の影響がある場所

×　直射日光の影響を受ける場所

×　ほこりの多い場所（天井や床等他箇所の施工を伴う場合は、最終工程での施工を推奨します。）

＜その他＞

当塗料は、2 液硬化性で硬化が早いことや、膜厚をたっぷり付けることなど、一般的な塗料とは異なる部分があるため、施工者様が初めてご利用になる場合は、事前にテストされ、順や感触を確認されておくことを推奨します。施工の際には必ず、付属の「取扱説明書」をお読み下さい。